

# しものせきし りつこう こ はくぶつかんてん じ 下関市立考古博物館展示ガイド

## ちょぞうようたてあな にんぎょう 貯蔵用竪穴と人形

入り口をはいると目の前に本物そっくりの人形がみえます。

### ◎ 左側

およそ2100年前

やよいじん しゅうかく たべもの ちょぞうけつ  
弥生人たちが収穫した食物を貯蔵穴

（くら）にたくわえている様子です。

やよいじん ふく とうじ い  
いま弥生人がきている服も当時の衣

ふく さいげん  
服を再現しています。

### ◎ 右側

いまから40年ほど前（1965年）

やよいじん ちょぞうけつ  
弥生人の使っていた貯蔵穴（くら）

ほ ちょうさ  
を掘って調査をしているところです。



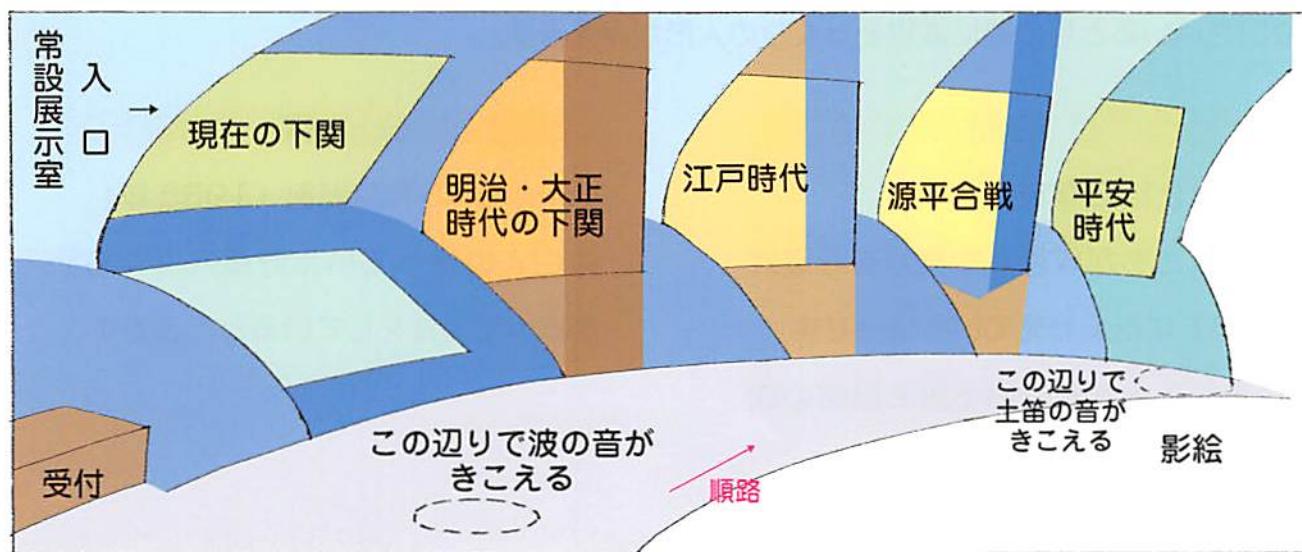
うしろ あや じだい たてあなししきじゅうきよ  
人形の後に見えるのは、弥生時代に人々がすんでいた竪穴式住居です。

あやらぎ ごういせき く  
ここ綾羅木郷遺跡での弥生人の暮らししが見えてきませんか？

## タイムトンネル

常設展示室へはタイムトンネルを抜けていきます。これは進むにつれて、下関の現在から過去にさかのぼっていきます。

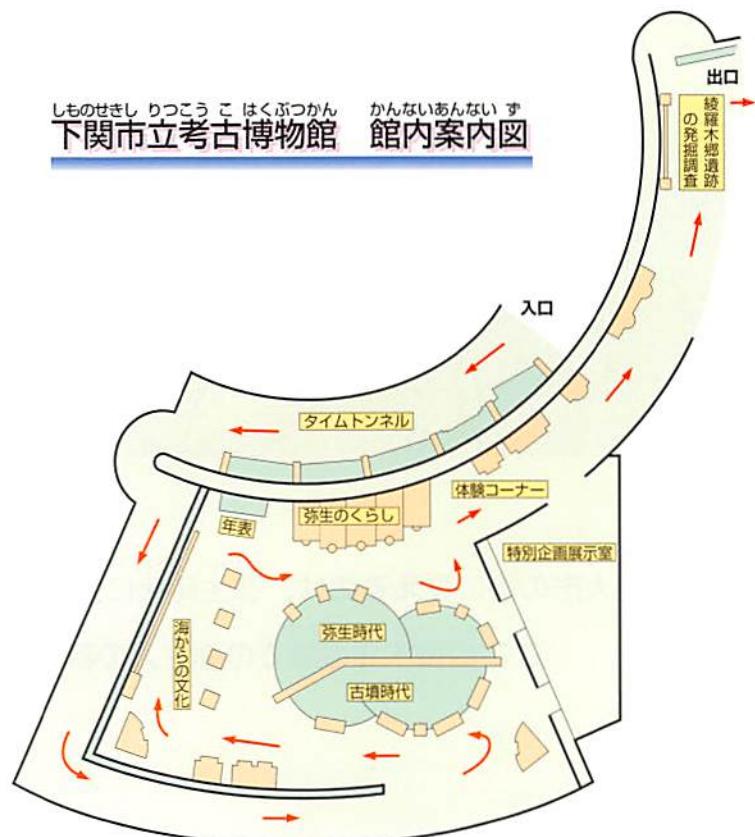
やがて音楽が聞こえてきます。これは弥生時代の土笛の音色です。日本ではじめて綾羅木郷遺跡で発見されたものを復元して演奏しています。そばには弥生時代のくらしをイメージした影絵が動いています。



タイムトンネルからさらに進むと、古墳時代と弥生時代を中心に展示している常設展示室があります。天井から土笛を吹く少年と少女が皆さんを出迎えてくれます。

スロープをおりると古墳時代の展示になります。

下関市立考古博物館 館内案内図



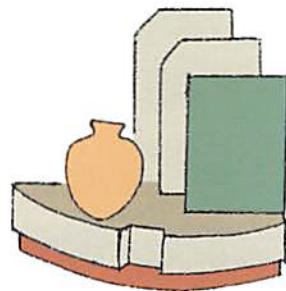
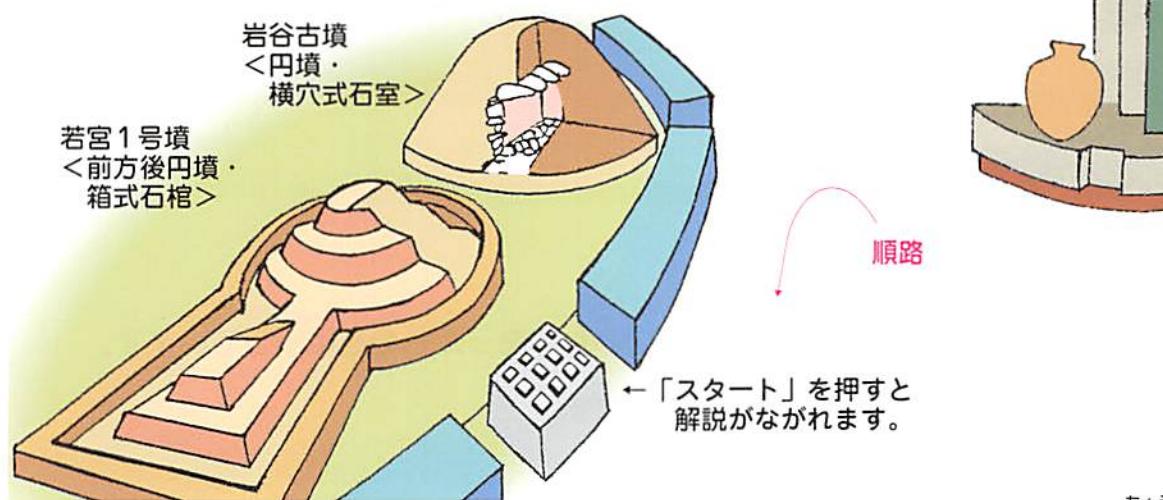
## 古墳時代

古墳時代は、およそ1700～1400年前で、**けんりょくも**権力を持った人がその力をあらわす大きなお墓（古墳）を造った時代です。

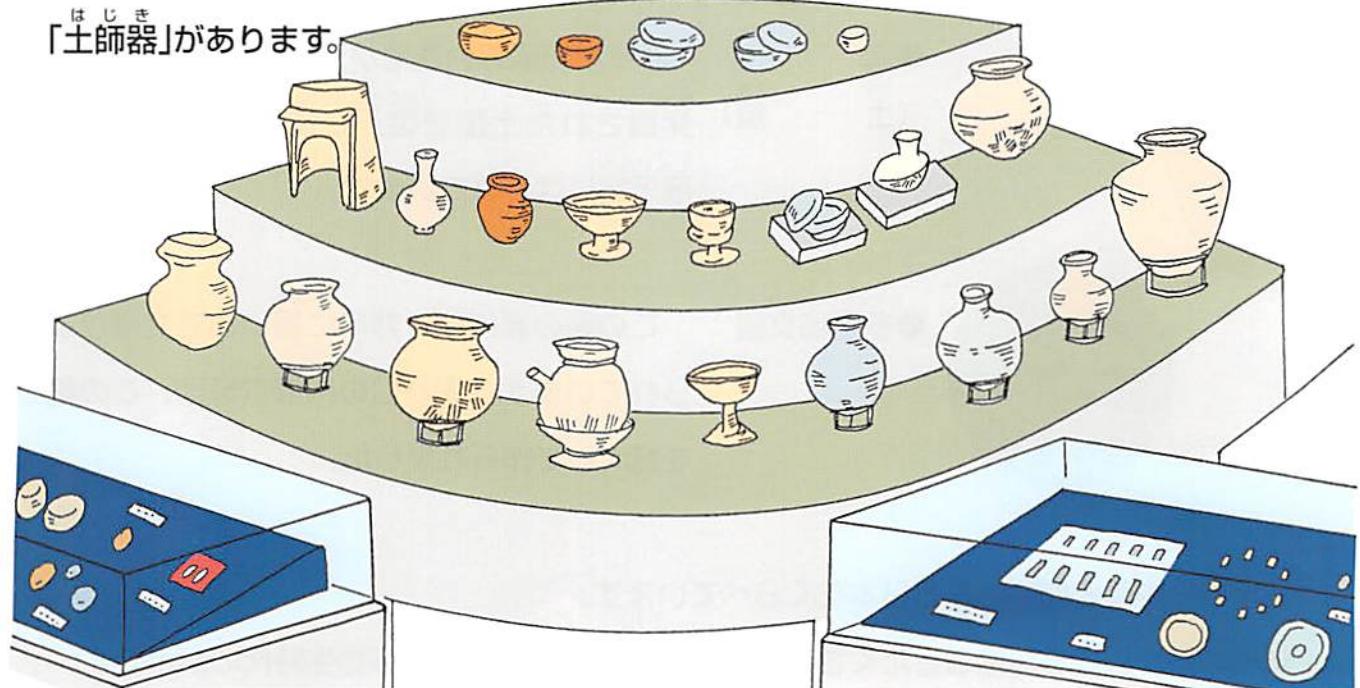
正面に見える赤い土器（土で作つたいれもの）は、岩谷古墳を作る時、祭りに使われたものです。

古墳の模型は、20分の1の大きさですが、博物館の外には実際の大きさで復元しています。ガラスのケースの中には、古墳の中に一緒に入れられたもの（副葬品）が見られます。

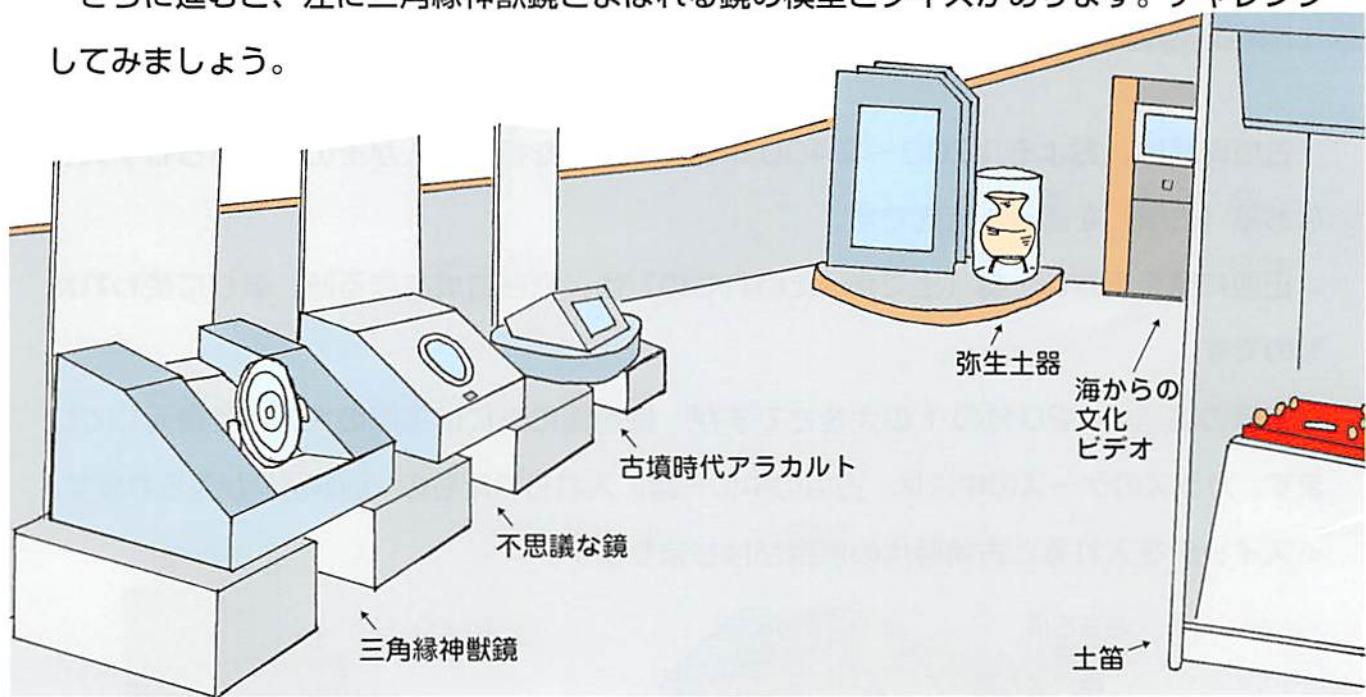
※スイッチを入れると古墳時代の解説がはじまります。



横には古墳時代に使われた「うつわ」等があります。「うつわ」の中には朝鮮半島から伝えられた技術でつくられた灰色の「須恵器」や弥生時代の土器と同じ方法で作られた「土師器」があります。



さらに進むと、左に三角縁神獣鏡とよばれる鏡の模型とクイズがあります。チャレンジしてみましょう。



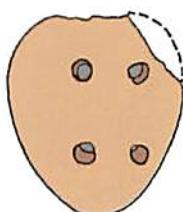
## 海からの文化

このコーナーでは、中国や朝鮮半島と日本に関わりのあったものを展示しています。

※スイッチを入れると海からの文化の解説が流れます。

4つならんだ背の高い展示ケースには、手前から

陶墳・蓋弓帽と鏡・細形銅剣と多鈕細文鏡・朝鮮系無文土器があります。



●陶  
墳  
(土)  
笛

綾羅木郷遺跡や各地から出土した土笛です。  
発掘された土笛を復元して演奏した音楽が  
展示室にながれています。



●多鈕細文鏡

この鏡の裏には、非常に細い線で文様がほ  
られています。入り口の円形広場は、この鏡  
を拡大して作られました。

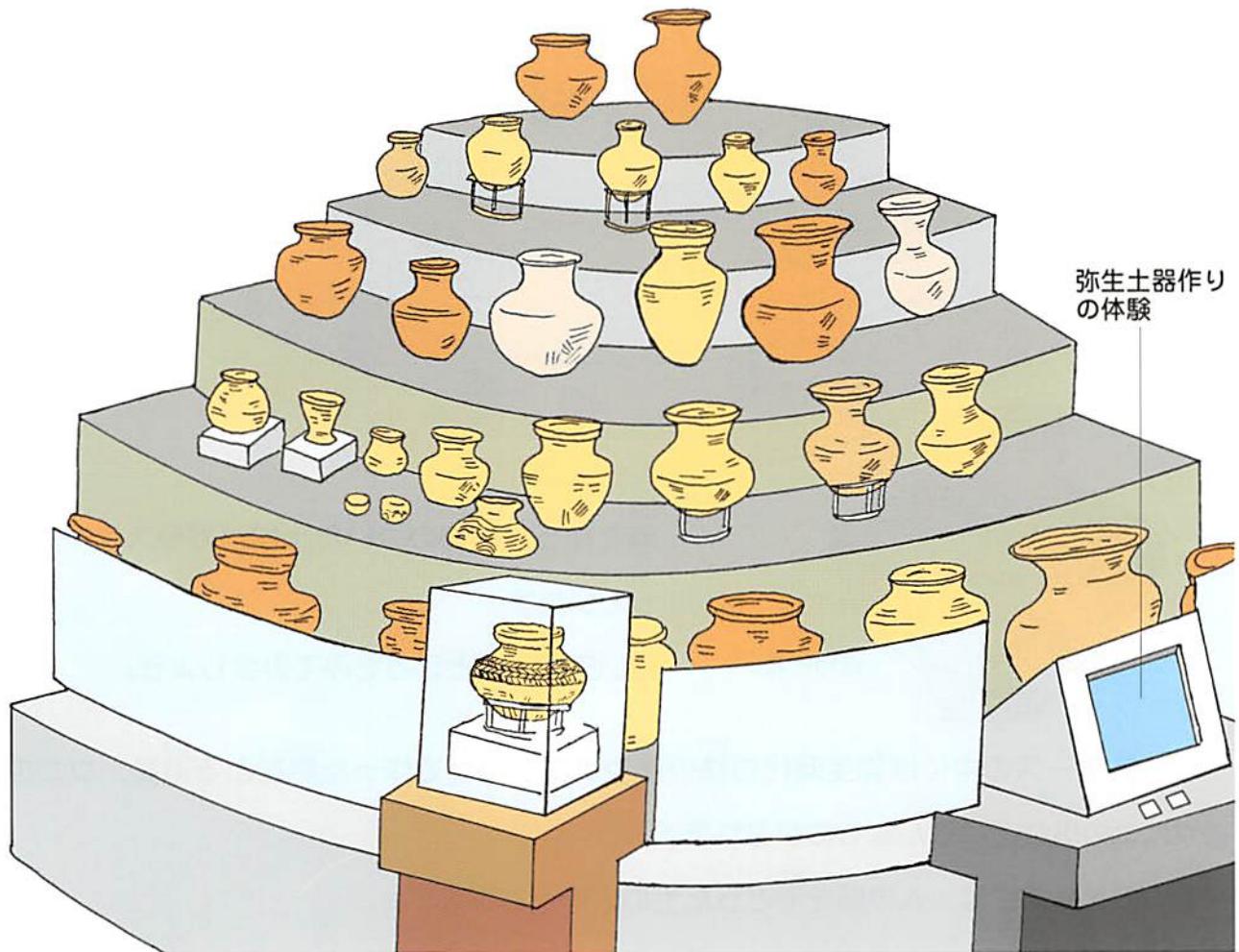
◎年表一中国と朝鮮半島と日本をくらべています。

年表の所からさらに進むとたくさんの土器が見えます。ここから弥生時代の展示です。

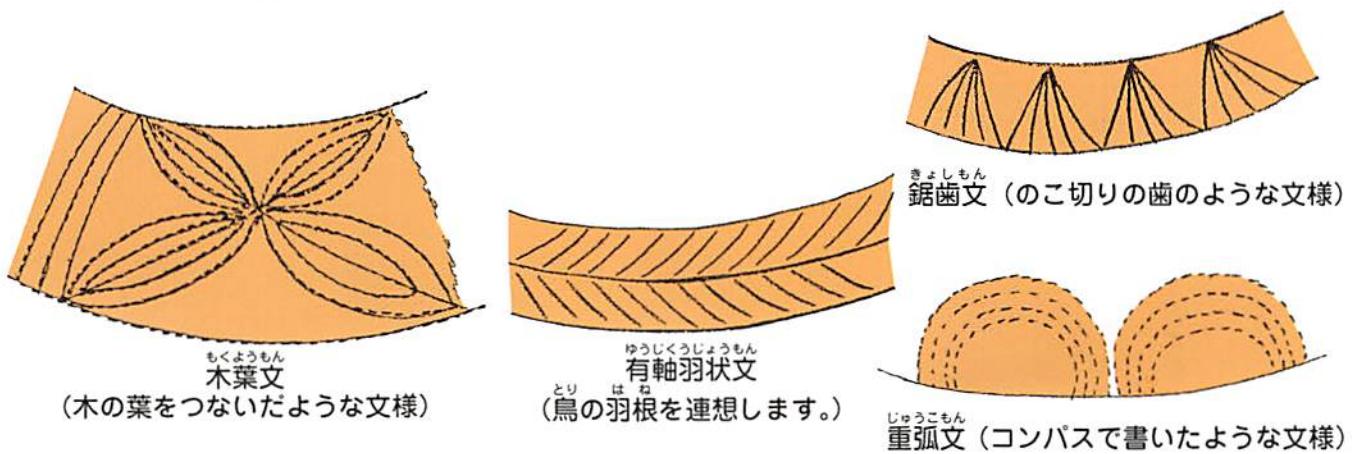
## 弥生時代

弥生時代は、今からおよそ2300～1700年前で、大陸からお米を作る技術が伝えられ全国に広りました。

ここには綾羅木郷遺跡から出土した土器を展示しています。これらはほんのごく一部です。  
※スイッチを入れると土器の作り方がわかります。



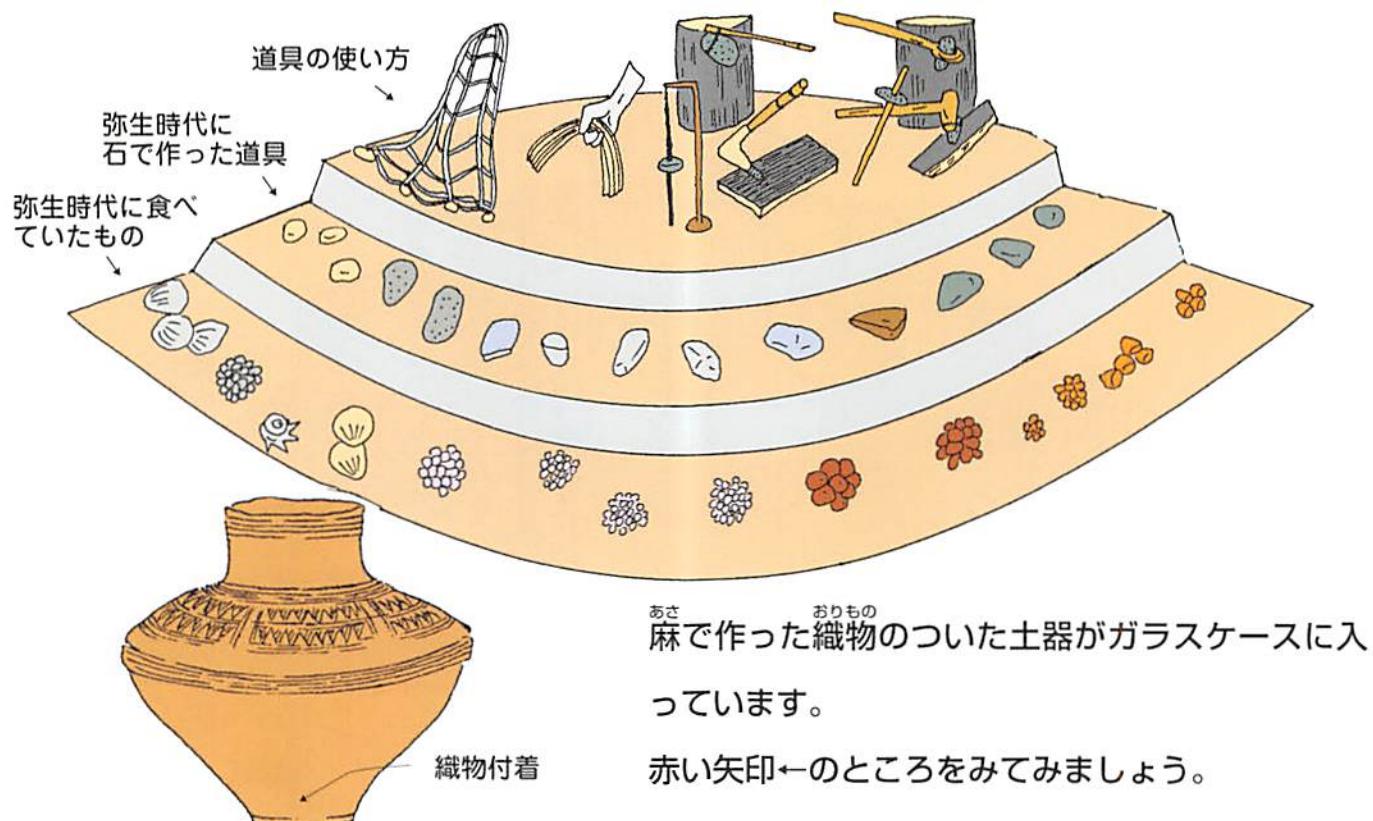
ここにある土器にはたくさんの文様があります。



たくさんの土器のとなりには、弥生時代の人々の暮らしがわかるようになっています。

※それぞれスイッチを入れて、解説を聞いて下さい。

たくさんの土器の横に実際に弥生時代に使われていた道具や食物があります。



ガラスケースの中には弥生時代の鉄の斧やクジラの骨で作った鮑をとる道具、ウニの棘やカニの爪などいろんなものがあります。

近くのケースには、人の顔を形どった土の人形があります。

顔の頬の所には線が刻まれています。この線はイレズミを表現したもので、当時の人がイレズミをしていたことがわかります。

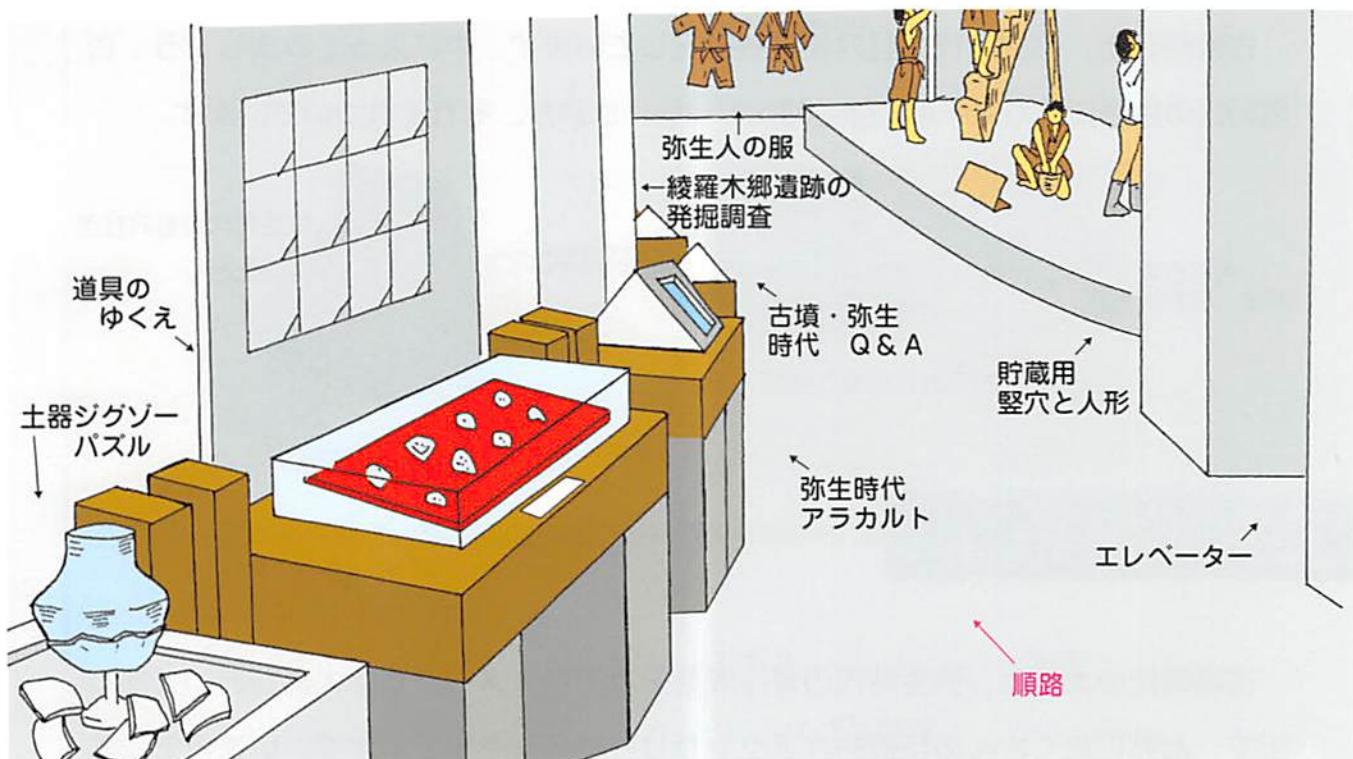


土で作った人形

## たいけん 体験コーナー

土器のパズル、道具のゆくえなど実際にやってみましょう。

古墳時代、弥生時代のクイズにチャレンジしてみましょう。



入り口でみた人形の下の所に出てきました。

反対側にはパネルがあります。

硅砂を掘るためにこの遺跡が壊されることになり、ボランティアが発掘調査をしたときの写真です。

ブルドーザーの前にたちはだかって遺跡を守ろうとしています。

このようにみんなが力を合わせて綾羅木郷遺跡を保存したおかげで今こうしてわたしたちがみることができます。

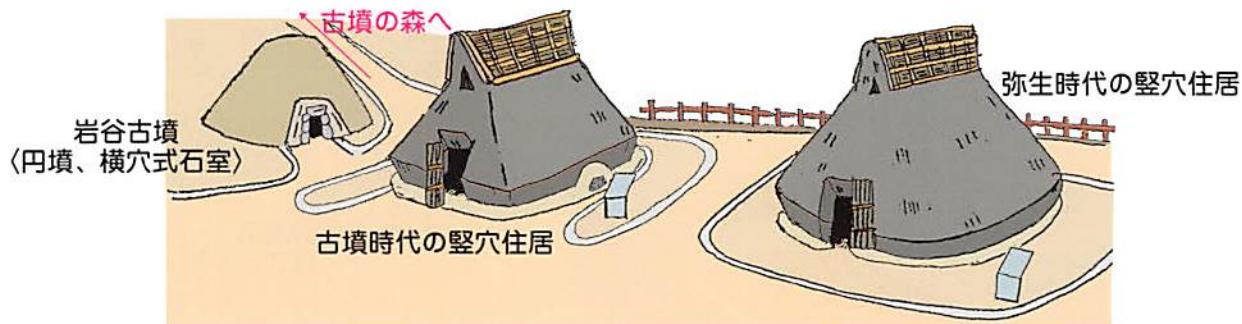
遺跡は長い年月を経て現在まで保存されてきたものです。今生きている人のためだけにあるものではありません。これから先の未来のひとのためにも大切な文化遺産をのこしていくかなくてはいけません。

## おくがいてんじ 屋外展示

かんない 館内を見おわったら、屋外へ出てみましょう。

もけい じっさい ふくげん いわ や こ ふん せきしつ  
屋外には館内で見た模型の実際の古墳が復元されています。岩谷古墳は石室の中  
に入ってみることができます。

たてあなじゅうきよ 古墳時代と、弥生時代の竪穴住居も復元しています。中に入ってみましょう。古  
墳時代の住居にはカマドが、弥生時代の住居には炉が、それぞれついています。



## きねんさつえい 記念撮影ポイント

おおきみ 古墳時代の大王と、弥生時代の卑弥呼をそれぞれイメージした人形がおいてあります。ともにたくさんの特徴的なアクセサリーや髪型をしています。今までここで勉強してきたことや見てきたものを思い出して、名前をあててみましょう。

こだいじん 考古博物館に来館した記念に、ここで古代人になって、記念撮影をしてみませんか？

### クイズにチャレンジ!

こたえは下にあります。

#### 古墳時代の大王（イメージ）

#### 弥生時代の卑弥呼（イメージ）

①この髪型の名前は？  
( )

うえ やま こ ふん  
②上の山古墳からも見つかった  
かがみ この鏡の名前は？  
( )

③上の山古墳からも見つかった  
このうでわの名前は？  
( )

◎クイズの答え ①みずら ②六鈴鏡 ③鈴付釧 ④陶墳（土笛） ⑤勾玉と管玉



④綾羅木郷遺跡から日本  
はじめて発見された  
がっき 楽器の名前は？  
( )

⑤このアクセサリーの名  
前は？  
( )と( )

#### 下関市立考古博物館展示ガイド

2005年12月1日

発行 下関市立考古博物館

〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡454

TEL 0832-54-3061

印刷 泉菊印刷株式会社